

# 大学ポートレートの普及について 高等学校の実態から考える

公益財団法人日本進路指導協会

理事・調査部長

千葉吉裕

## 保護者世代

1960年代後半～1970年代後半生



高校時代は

「お受験」「テレビゲーム」「バブル」

大学時代は

～「バブル」～「就職氷河期」

予備校依存の受験、一人遊び、金銭感覚

# 保護者世代の高校時代の学び

学習指導要領 昭和52年改訂

ゆとりと充実

ゆとりある充実した学校生活の実現



## 学習負担の適正化

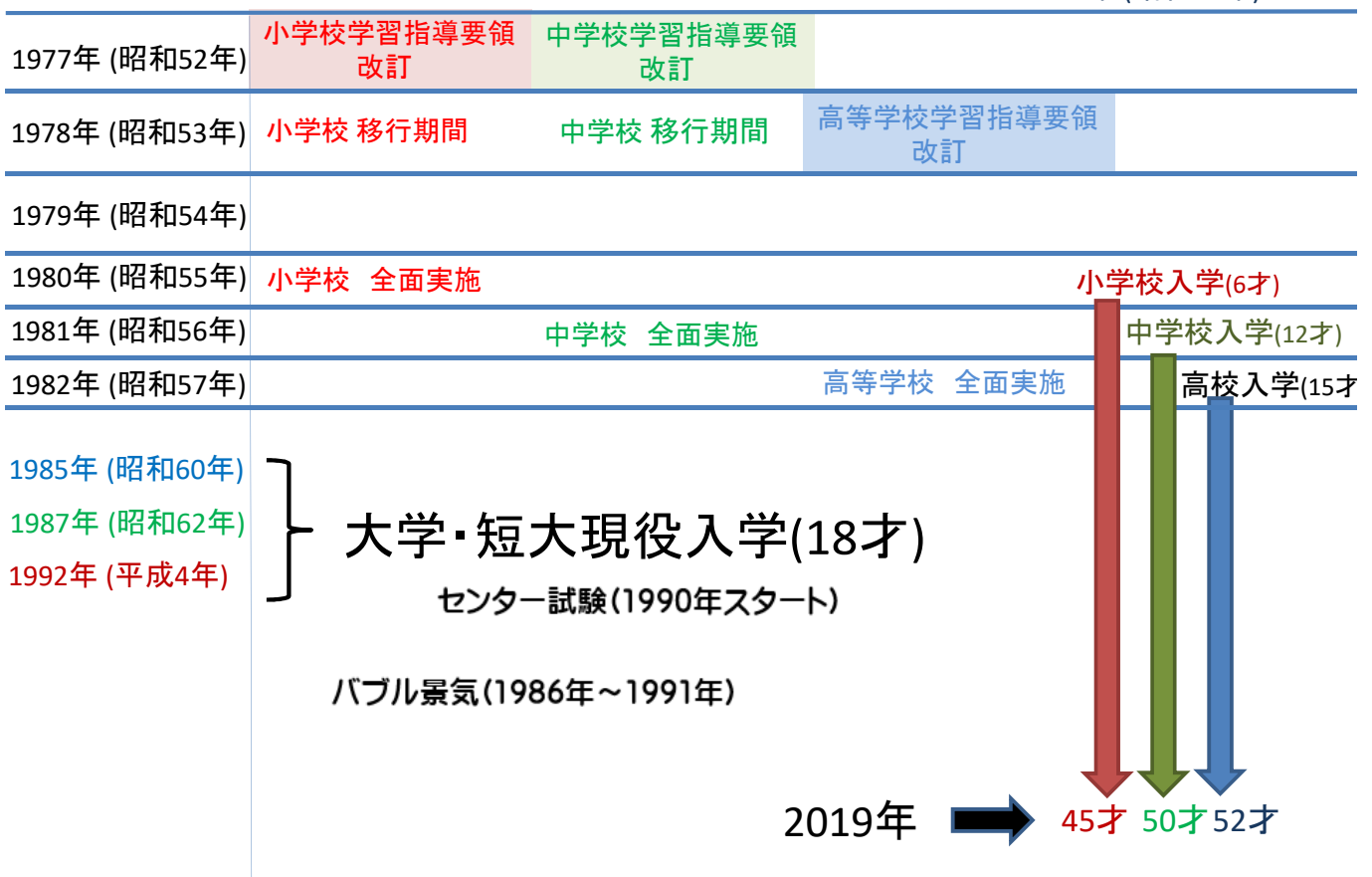
受験勉強が変化

### 学習指導要領昭和52年改訂

1974年 (昭和49年)生まれ

1969年 (昭和44年)生まれ

1967年 (昭和42年)生まれ

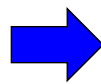


# 大学入試センター試験

1990年(平成2年)スタート

- ★私立大学の利用
- ★国立大学
  - 連続方式・分離分割方式
- ★利用教科・科目を  
各大学が自由に指定できる  
アラカルト方式

大学の序列化が加速



偏差値による大学選びが浸透  
受験産業に依存した大学選び

[オープンキャンパスも、インターネットによる情報発信もない時代]

## 高校進路指導の変容

教員の大量退職・大量採用時代



- ★ベテラン教師が退職
- ★進路指導の基本的知識・技能を  
持たない教師の増加

同一校の在任期間の短縮

全国的な公立高校の異動方針の変更

- ★長期間にわたって分掌専任を担う教員が減少
- ★学校の特色化が薄れる

➡ 仕事の継承が難しくなる

## 保護者世代

依存

組織・集団

経済性重視

働く意義

モノ

豊かさ

損得

消費行動

受動的収集

情報

## 生徒世代

希薄

個人性重視

コト

自分感覚

選択的収集

**学校選びの際、**

**どんな情報を頼りにしているか**

学校案内

各大学のHP

オープンキャンパス

受験産業の広告サイト

予備校のランキング表

無料の広告紙

ブース形式の学校説明会

.....

**情報提供側の広報・広告に基づく大学選び**

# 大学ポートレートについて

## 高校教員・保護者・生徒は……

### ★知らない

- ・予備校・受験産業は大学ポートレートのことを伝えない
- ・各都道府県教育委員会も、伝えない

### ★必要性を感じてない

- ・入学試験の難易度でも大学選びはできてしまう
- ・他の広告サイトと違いが分からない

### ★活用の仕方を知らない

- ・進路指導に関する手引きが発刊されなくなった
- ・利用した経験がない

### ★学校には活用する環境が整っていない

- ・学年全員が同時に使えるPCが揃っていない
- ・同時接続端末が多くなると通信速度が低下

# 大学ポートレートについて

## 利用・研修の機会を

ワークショップで、大学ポートレートを実際に活用し、他のサイトでは得られないメリットを体感させる

 SNSでの拡散、各都道府県での伝達講習で普及

例えば

東京大学主催

主要大学説明会

各大学の

オープンキャンパス

独立行政法人教職員支援機構主催

教職員等中央研修

かつておこなっていた

大学入試センター主催

大学ガイダンスセミナー

のような機会の創設